

事業計画書

■当初 □最終

作成年月日 2020年10月12日

法人名	株式会社プロエイド
代表者職名前	永井 健三
担当者名	連絡先

1 協議事項

協議の種類	計画の概要	本計画に記載が必要な項目														
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
■新規事業所の開設 (事業所の移転) (大規模な事業内容変更)	□ 共生型サービス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	■ 共生型サービス以外	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	□ 事業の追加	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	□ 多機能型サービス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
□ 定員の変更	□ 施設整備を伴う	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	□ 施設整備を伴わない	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	□ 建物の構造・設備の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	□ 現在地	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

2 事業実施に係る動機

既存の放課後等デイサービス2事業所はそれぞれ特色を持ち(アィーライフ南藤王:体験・運動)(アィーライフ学習特化型:習字・そろばん・英語・プログラミング)を種々の発達に合わせた進め方で段や級を取得し自信に繋げる)サービスを提供している中で、低学年が多く高学年に必要な学習面での環境が作りづらい現状がある。また、低学年から長く利用することで新規利用児童の受け入れが難しい状況にもある。新規事業所を開所するうえで高学年の受け入れ、学習面と居場所づくりを中心に、3事業所がそれぞれ特色を持ち利用児童や保護者のニーズに対応できるようなってほしい。

3 提供サービス

種別	①小規模多機能型居宅介護(2事業所)	割合	59%	提供日	
	②小規模保育A型	割合	12%		■ ■ ■ ■ ■ ■ □
	③放課後等デイサービス(2事業所)	割合	18%		
	④児童発達支援事業所	割合	11%	月火水木金土日	
理念	1.アィーライフ最高と感じる時間を過ごしてもらえよう、1人1人の可能性や能力を信じ自立できる支援を行います。 2.人との繋がりを大切に、地域を通して子どもたちが自立できる支援を行います。 3.子どもの小さな成長を保護者と共有し、安心できる場を提供します。				
目標	・将来の目標に向かって生活できるよう児童の関心・計画・習慣・主体・定着を育てる。 ・自立した生活が送れるよう個々の可能性や能力を伸ばし、進学・就労を見据えた支援を行う。				
同種のサービス	小規模多機能型居宅介護事業所(2事業所)	小規模保育A型事業所			
	放課後等デイサービス事業所(2事業所)	児童発達支援事業所			

4 施設の概要(平面図は裏面のとおり)

施設概要	土地	所在地	福山市南藤王町6丁目36番39号	用途区域	第1種住居地域	意見					
	所有者	名称	南藤王町 栄山住宅	抵当権	あり	・本件は、市街化区域内(第1種住居地域)、宅地造成工事規制区域外の既存建築物の用途を「放課後等デイサービス」及び「訪問看護事業所」に変更するもので、都市計画法第4条第12項に規定する開発行為に該当しないため、同法第29条第1項の規定による「開発許可」を要しない。 ・今回計画の事業所は、児童福祉施設等の用途に該当するが、用途を変更する床面積が200㎡以下であるため、建築基準法上の手続は不要。なお、手続が不要な場合であっても、建築士等に相談し、建築基準法に適合する計画とする。併せて、消防用設備等設置届を提出すること。 ・放課後等デイサービス事業所内でカーテン、じゅうたん等を使用する場合は防火物品を使用すること。 ・防火対象物使用開始日(同一建物内で訪問介護事業所をワンフロア訪問介護ステーションと併せたもの)を提出すること。					
	建物	所有者		構造	木造						
	用途	6(ハ)	階層	2	地上		2階	地下	0	建築年	昭和29
建築面積	114.75	延面積	121.48	㎡							
事業概要	①	種別	新規指定	使用する階	1階	専有面積	114.75	㎡			
		収容人員	17人	内訳	職員	7人	利用者	10人			
	②	種別	新規指定	使用する階	1階	専有面積	14.41	㎡			
		収容人員	3人	内訳	職員	3人	利用者	0人			
	③	種別		使用する階		専有面積		㎡			
		収容人員		内訳	職員		利用者				
申請種別	□ 新築 □ 増築 □ 用途変更 ■ その他										
内容	事務所は訪問看護、放課後等デイサービスと一緒に使用し、建物は2事業所の物として賃借します。										

5 主要取引先

上段:取引先	割合	掛取引	回収・支払の条件	意見
下段:所在地	%	%	日 〃 日回収	
	%	%	日 〃 日回収	
	%	%	日 〃 日回収	

6 従業員

職種	雇用形態	名前	年齢	月給	意見
管理者	■ 常	A	37	25万円	
サービス管理責任者	■ 常		37	万円	
児童指導員	■ 常 □ 非	B	53	23万円	
保育士	■ 常 □ 非	C	23	23万円	
児童指導員	■ 常 □ 非	D		23万円	
児童指導員	□ 常 ■ 非	E	62	6万円	
指導員	□ 常 ■ 非	F		6万円	
指導員	□ 常 ■ 非	G		6万円	
人件費	30日	15日	支払	ボーナス	7月 10月

様式第2号-1

受理	12月10日
関係者への意見聴取	<input type="checkbox"/> 市 建築指導課 <input type="checkbox"/> 消防局 予防課 <input type="checkbox"/> 開発指導課 <input type="checkbox"/>
回答	2月2日

7 借入金の状況

金融機関	理由	借入残高	年間返済額	意見
商業銀行	会社全体での借り入れによる。放デイ専任での借り入れは無し。	9600万円	万円	
		万円	万円	
		万円	万円	

8 必要な資金と調達方法

必要な資金	金額	調達方法	金額	意見
土地	万円	補助金	万円	
設備	750万円	自己資金	1665万円	
設備	250万円	借入金	0万円	
車両	165万円			
その他	万円			
運転資金	500万円			
合計	1665万円	合計	1665万円	

9 事業の見直し

	1月目	2月目	3月目	1年後	意見
利用者見込 A	74人	102人	118人	250人	
月平均利用額 ※1 (1人当たり)	12万円	12万円	12万円	12万円	
収 給付費 ※2	万円	万円	73万円	194.99万円	
入 その他	万円	万円	0.37万円	0.99万円	
収入計①	万円	万円	73.37万円	194.99万円	
人件費	112万円	112万円	112万円	112万円	
旅費・交通費	8万円	8万円	8万円	8万円	
賃借料	4万円	4万円	4万円	4万円	
支出	3.5万円	3.5万円	3.5万円	3.5万円	
経費 ※4	42万円	40万円	40万円	42万円	
支払元金利息	万円	万円	万円	万円	
支出計②	169.5万円	167.5万円	167.5万円	169.5万円	
収 取	△ 169.5万円	△ 167.5万円	△ 94.13万円	25.49万円	
収入 B	万円	万円	万円	万円	
売上高 ※3	万円	万円	万円	万円	
支出 C	万円	万円	万円	万円	
利用者賃金	万円	万円	万円	万円	
必要経費	万円	万円	万円	万円	
現状確保状況(A型)	円	円	円	円	

※1 月平均利用額(1人当りの積算根拠)

基本報酬(サービス費)×全月の加算について記載すること

平日11時(祝日除く)～15時(祝日除く) 104単位(定額) = 104単位 × 1,000単位 × 1,000単位 × 0.15(定額) = 1,512,000円
 平日15時～18時(祝日除く) 104単位(定額) = 104単位 × 1,000単位 × 1,000単位 × 0.15(定額) = 1,512,000円
 平日18時～21時(祝日除く) 104単位(定額) = 104単位 × 1,000単位 × 1,000単位 × 0.15(定額) = 1,512,000円
 平日21時～24時(祝日除く) 104単位(定額) = 104単位 × 1,000単位 × 1,000単位 × 0.15(定額) = 1,512,000円
 平日11時～24時(祝日除く) 104単位(定額) = 104単位 × 1,000単位 × 1,000単位 × 0.15(定額) = 1,512,000円
 平日11時～24時(祝日除く) 104単位(定額) = 104単位 × 1,000単位 × 1,000単位 × 0.15(定額) = 1,512,000円
 平日11時～24時(祝日除く) 104単位(定額) = 104単位 × 1,000単位 × 1,000単位 × 0.15(定額) = 1,512,000円
 平日11時～24時(祝日除く) 104単位(定額) = 104単位 × 1,000単位 × 1,000単位 × 0.15(定額) = 1,512,000円

※2 給付費は、サービス提供月の翌月に振り込まれるので留意すること(例:4月サービス提供→5月請求→6月振込)

※3 主な受注作業取引先

上段:受注先	1月当たりの受注額	契約書の有無	回収・支払いの条件
下段:所在地	万円	あり □ なし	

※3 主な事業所内生産品

生産品	1時間単価	計算式	1月当たりの生産額
	円 ×	H ×	日 × 人 = 万円
	円 ×	H ×	日 × 人 = 万円

※4 経費:消耗品、光熱水費、車両管理費、研修費、宣伝広告費、租税公課、社会保険料、レンタル料等

10 付近図

小学校区	緑ヶ丘	人口	12,911	人	事業所数	1	事業所
					利用定員	10	人

凡例

- ... 事業所
- × ... 同種の事業所
- △ ... 一次避難先
- ... 二次避難先

付近図 添付省略

意見

11 平面図

※平面図のデータを貼付

意見

- ・指導訓練室は机等が配置されているが、業面指導はどの場所でもできるように行うか。
- ・トイレが一つのみしか設置されておらず、利用者への配慮が不十分である。設備については、年齢や障がい特性に配慮したものとすること。

12 事業計画

<p>営業日:月曜日～土曜日</p> <p>サービス提供時間:①9:00～12:00(月～金)②14:30～17:30(月～金)③10:00～16:00(土・長期休暇)</p> <p>休日:日曜日、国民の祝日、年末年始(12月30日から1月3日)、お盆(8月13日から8月15日)</p> <p>定員:10名</p> <p>対象の障がい:精神障害・知的障害</p> <p>主な対象地域:福山東部</p> <p>目標:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平日の午前中には学校へ行っていない児童の受け入れを行い、利用児童と送迎の車内や普段のコミュニケーションを取り関係を作る中で何でも(好きなことや得意分野等)相談できる場、居場所づくりとしての活用。 ・児童がどんなことに興味があるか把握した上で保護者と相談や必要な際の連携を行い職場見学や体験を行う中で将来の視野を広げる。 ・午前、午後ともにパソコン(将来パソコンが必要になってくることを見据えてパソコンを導入し学習面で活用していく)使った自立学習の定着、また学習の中で解らない箇所を職員と一緒に解決を行う。 ・設備パソコンを導入し、目的や進度に合わせた学習を行い採点から評価までを行う。 <p>併設事業:なし</p>	<p>意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校へ行っていない児童の受け入れは午前のみか。一日利用が可能な場合、一旦帰宅してもらうのか。 ・受け入れ児童について具体的な想定はあるか。(特別支援学校の生徒を想定しているなど)
--	---

13 利用者処遇

<p>活動の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平日の午前中には学校へ行っていない児童の受け入れを行い、利用児童との関係を作る中で何でも相談できる場、居場所づくりとして活用できる。 ・パソコンを使った自立学習の定着、また学習の中で解らない箇所を職員と一緒に解決を行う。(学習面では教材選びや高校とのアルバイトを学習面と連携しながら行う) ・一人ひとりの学習面での課題や得意な部分を把握した上で児童の力に合わせた個別指導や集団指導を行う。また将来のなりた職業や夢に少しでも近づけるよう「将来の夢=どんな職業をしないといけないのか」に繋げられるよう、やる気や興味を引き出す ・自立に向けての活動では、作りたい物を買って(グラム紙や材料)買物に行き実際に作り、片付けまでを行いながら自分で自給出来る力をつける。 ・高校に向けての学習を一緒に取り組める体制を整えておく。 ・実際に職場見学や体験、現場では働いている方の話を聞く中で将来どんな職業があるのか?興味があるものから体験する中で入り口が少しでも開くよう支援を行う。 ・児童や保護者との面談や日々のコミュニケーションをとる中で好きなことや得意分野を見つけ、興味のある進学先や職場の見学、体験を一緒に行う。 <p>代間交流</p> <p>プロエイド内の事業所は、介護、学習、保育サービスがある。幅広い世代間の交流として、普段は経験出来ないような行事などを一緒に行うことで、人とのつながり、思いやり、やさしさなどの気持ちを育てる。(例:畑での交流・季節の行事・納涼祭等)</p> <p>全体として</p> <p>職員は月1回、主に参考書の読み合わせ、研修に参加した職員を主としてグループワークを行いながら応用行動分析を学ぶ。講師の方をお招きしての勉強会も予定実施する。また、利用児の良いい行動を増やし、良くない行動を減らしていくよう支援する。また、保護者支援では、職員の子育ての経験に基づいたアドバイスに重きを置き、知識を持って寄り添いながら適切なアドバイスをしていく。</p>	<p>意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校へ行っていない児童の居場所づくりのための、具体的な取り組みを記載すること。 ・進学に向けた勉強に限らず、就労に向けた支援も行うか。就労支援を行うのであれば、障がいの特性を理解した就労先の選択や社会資源の活用等、幅広い知識が必要ではないか。
---	---

14 防災計画

<p>●津波発生時の避難確保計画 避難場所:ラファスタ立体駐車場2F 事業所から1,300m</p> <p>●火災、地震の避難計画 避難場所:緑丘小学校 事業所から800m</p> <p>職員が安全確保しながら災害時には徒歩、水害時には公用車にて誘導し避難します。</p>	<p>意見</p>
--	-----------

15 一日の流れ

08時30分～09時00分	送迎	<p>意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平日は二部制か。休憩は職員の休憩を表明しているか。 ・休日の支援で職員が休憩する際に、指定基準を下回らないよう、適正な配置を徹底すること。
09時00分～12時00分	サービス提供	
12時00分～12時30分	送迎	
12時30分～13時30分	休憩	
13時30分～14時00分	支援準備・昼礼	
14時00分～14時30分	送迎	
14時30分～17時30分	サービス提供	
17:30～18:30	送迎	

事業計画書

□当初 ■最終

作成年月日 2021年 2月16日

法人名	株式会社プロエイト
代表者職名前	永井 健三
担当者名	連絡先

1 協議事項

協議の種類	計画の概要		本計画書に記載が必要な項目														
	新規事業所の開設		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	■ 共生型サービス	□ 新築予定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(事業所の移転) (大規模な事業内容変更)	□ 賃借	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	□ 事業の追加	□ 多機能型サービス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	□ 新築予定	□ 賃借	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
□ 定員の変更	□ 施設整備を伴う	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	□ 施設整備を伴わない	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	□ 建物の構造・設備の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

2 事業実施に係る動機

既存の放課後等デイサービス2事業所はそれぞれ特色を持ち(アীরライン南蔵王:体験・運動)(アীরライン学習特化型:習字・そろばん・英語・プログラミングを個々の発達に合わせた進め方で段階取得し自信に繋げる)サービスを提供している中で、低学年が多く高学年に必要な学習面での環境が作りづらい現状がある。また、低学年から長く利用することで新規利用児童の受け入れが難しい状況にもある。新規事業所を開所するうえで高学年の受け入れ、学習面と居場所づくりを中心に、3事業所がそれぞれ特色を持ち利用児童や保護者のニーズに対応できるようにしていきたい。

3 提供サービス

種別	① 小規模多機能型居宅介護(2事業所)	割合	5 9 %	提供日	提供日					
	② 小規模保育A型	割合	1 2 %	■	■	■	■	■	■	■
	③ 放課後等デイサービス(2事業所)	割合	1 8 %							
	④ 児童発達支援事業所	割合	1 1 %	月	火	水	木	金	土	日
理念	1. 「アীরライン最高」と感じる時間を過ごしてもらえるよう、1人1人の可能性や能力を信じ自立できる支援を行います。 2. 人と人の繋がりを通じて、地域を通して子どもたちが自立できる支援を行います。 3. 子どもの小さな成長を保護者と共有し、安心できる場を提供します。									
目標	・将来の目標に向かって生活できるよう児童の関心・計画・習慣・主体・定着を育てる。 ・自立した生活が送れるよう個々の可能性や能力を伸ばし、進学・就労を見据えた支援を行う。									
同様のサービス	小規模多機能型居宅介護事業所(2事業所)	小規模保育A型事業所	児童発達支援事業所	放課後等デイサービス事業所(2事業所)	児童発達支援事業所					

4 施設の概要【平面図は裏面のとおり】

土地	所在地	福山市南蔵王町6丁目35番39号	用途区域	第1種住居地域	主な修正点					
所有者	福山市南蔵王町6丁目35番39号	地当権	<input type="checkbox"/> あり		建築士に相談しながら、建築基準法に適合するように対応します。					
建物	名称	南蔵王町 来山住宅	地当権	<input type="checkbox"/> あり	・隣接の防火用設備設置を準備し、出火時緊急に提出します。					
	用途	6(ハ)	構造	木造	・事業所内で使用する後、カーテン等の防炎物品を使用します。					
階層	2	地上	2階	地下	階	延年	昭和29	年		
建築面積	114.75 m ²		延面積	121.48 m ²						
事業の概要	種別	放課後等デイサービス		手続	新規指定	使用する階	1階	専有面積	114.75 m ²	
	収容人員	17人	内訳	職員	7人	利用者	10人			
	種別	新規指定	使用する階	1階	専有面積	14.41 m ²				
	収容人員	3人	内訳	職員	3人	利用者	0人			
	種別	新規指定	使用する階	1階	専有面積	14.41 m ²				
	収容人員	3人	内訳	職員	3人	利用者	0人			
内容	申請種別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 用途変更 <input checked="" type="checkbox"/> その他		事務所は訪問看護、放課後等デイサービスと一併に使用し、建物は2事業所の物として賃借します。						

5 主要取引先

上段:取引先 下段:所在地	割合	掛取引	回収・支払の条件		主な修正点
	%	%	日	日回収	
	%	%	日	日回収	
	%	%	日	日回収	

6 従業員

職種	雇用形態	名前	年齢	月給	主な修正点
管理者	■常	A	37	26万円	
サービス管理責任者	■常		37	7万円	
児童指導員	■常 □非	B	53	23万円	
保育士	■常 □非	C	23	23万円	
児童指導員	■常 □非	D	55	23万円	
児童指導員	□常 ■非	E	62	8万円	
児童指導員	□常 ■非	F	64	8万円	
指導員	□常 ■非	G	6	8万円	
人件費	30万円	15日支払	ボーナス	7月 10万円	

様式第2号-2

受付印

2月22日受付 (受付印省略)

7 借入金の状況

金融機関	理由	借入残高	年間返済額	主な修正点
銀行	会社全体での借り入れになる為、自己資金での借り入れは無し。	9600万円	万円	万円
		万円	万円	万円
		万円	万円	万円

8 必要な資金と調達方法

必要な資金	金額	調達方法	金額	主な修正点
土地	万円	補助金	万円	
設備	750万円	自己資金	1665万円	
設備	250万円	借入金	0万円	
資金	165万円			
その他	万円			
運転資金	500万円			
合計	1665万円	合計	1665万円	

9 事業の見通し

	1月目	2月目	3月目	1年後	主な修正点
利用者見込A	74人	102人	118人	250人	
月平均利用額 ※1 (1人当たり)	1.2万円	1.2万円	1.2万円	1.2万円	
取付け費 ※2	万円	万円	7.3万円	19.4万円	
人その他	万円	万円	0.37万円	0.99万円	
収入計 ①	万円	万円	73.37万円	194.99万円	
人件費	11.2万円	11.2万円	11.2万円	11.2万円	
旅費・交通費	8万円	8万円	8万円	8万円	
賃借料	4万円	4万円	4万円	4万円	
支出	3.5万円	3.5万円	3.5万円	3.5万円	
諸経費 ※4	4.2万円	4.0万円	4.0万円	4.2万円	
支払元金利息	万円	万円	万円	万円	
支出計 ②	169.5万円	167.5万円	167.5万円	169.5万円	
収支	△169.5万円	△167.5万円	△94.13万円	26.49万円	
収入 B	万円	万円	万円	万円	
売上高 ※3	万円	万円	万円	万円	
支出 C	万円	万円	万円	万円	
利用者資金	万円	万円	万円	万円	
必要経費	万円	万円	万円	万円	
最悪確保状況(A型) ((B-C)/25) / 8 / A	円	円	円	円	

※1 月平均利用額(1人当たりの積算根拠)

基本報酬(サービス費)十全ての加算について記載すること

月日11施設(夜泊)×15乗車(児童職員等加算)×100施設(巡回)×94施設(巡回)×84施設×84施設×(1.15(巡回1)+0.5(夜泊))=194.99
月日12施設(夜泊)×15乗車(児童職員等加算)×100施設(巡回)×94施設(巡回)×84施設×84施設×(1.15(巡回1)+0.5(夜泊))=194.99

平日:休日/夜泊/夜泊

※2 給付金は、サービス提供月の翌月に振り込まれるので留意すること(例:4月サービス提供→5月請求→6月振込)

※3 主な受注作業取引先

上段:受注先 下段:所在地	1月当たりの受注額	契約書の有無	回収・支払の条件
	万円	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	

※4 主な事業所内生産品

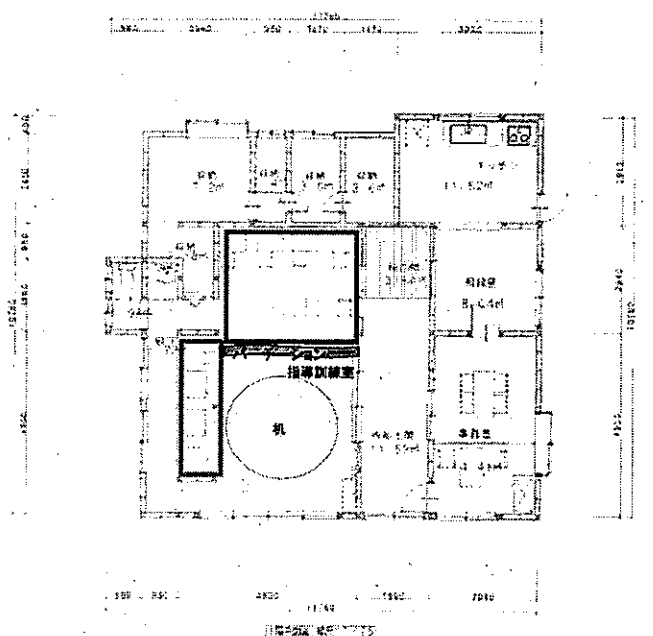
生産品	1時間単価	計算式	1月当たりの生産額
	円 ×	H ×	日 ×
	円 ×	H ×	日 ×
			人 = 万円
			人 = 万円

※4 諸経費:消耗品,光熱水費,車両管理費,研修費,宣伝広告費,租税公課,社会保障料,レンタル料等

10 付近図

小学校区 緑ヶ丘	人口 12,911 人	事業所数 1	事業所利用定員 10 人
<p>主な修正点</p>			
<p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ... 事業所 × ... 四種の事業所 △ ... 一次避難先 □ ... 二次避難先 			
<p>付近図 添付省略</p>			

11 平面図

<p>※平面図のデータを貼付</p> 	<p>主な修正点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気筒学習の際は、指導員と児童の個別用の机は可動式なので青部分の机を赤部分の場所へ並べ、パーテーションを設置し空間を分けて行います。 ・建築上トイレの増設が難しく、必要な際には連携先に協力してもらうなど細心の配慮を行います。
---	--

12 事業計画

<p>営業日:月曜日～土曜日 サービス提供時間:①9:00～12:00(月～金)②14:30～17:30(月～金)③10:00～16:00(土・長期休暇) 休日:日曜日、国民の祝日、年末年始(12月30日から1月3日)、お盆(8月13日から8月15日) 定員:10名 対象の障がい:精神障害・知的障害 主な対象地域:福山東部 目標: ・平日の午前中には学校へ行っていない児童の受け入れを行い、利用児童と送迎の車内や普段のコミュニケーションを取り関係を作る中で何でも(好きなことや得意分野等)相談できる場、居場所づくりとしての活用。 ・児童がどんなことに興味があるか把握した上で保護者と懇談や必要な際の連携を行い職場見学や体験を行う中で将来の視野を広げる。 ・午前、午後ともにパソコン(将来パソコンが必要になってくることを見据えてパソコンを導入し学習面で活用していく)使った自立学習の定着、また学習の中で解らない箇所を職員と一緒に解決を行う。 設備:パソコンを導入し、目的や進度に合わせた学習を行い採点から評価までを行う。 併設事業:なし</p>	<p>主な修正点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平日は午前と午後の2部制でサービス提供を行います。学校へ行っていない児童でも家庭環境や利用児童、保護者のニーズに合わせて午前、午後どちらでも(どちらか)利用してもらえるように考えています。 ・具体的な想定はしていないが、事業所のサービス(利用者支援)に対して、利用してみたいと思ってもいい児童や保護者のニーズが合うのであればそれを合うよう支援を行います。
---	--

13 利用者処遇

<p>居場所の主な内容 ・平日の午前中には学校へ行っていない児童の受け入れを行い、利用児童との関係を作る中で何でも相談できる場、居場所づくりとして活用できる。 ・パソコンを使った自立学習の定着、また学習の中で解らない箇所を職員と一緒に解決を行う。(学習面では教材選びや高校とのパイプ策を学習面と連携しながら行う) ・一人ひとりの今の学習面での課題や得意な部分を把握した上で児童の力に合わせた個別指導や集団指導を行う。また将来のなりたて職業や夢に少しでも近づけるよう「将来の夢→どんな職業をしないといけないのか」に繋げられるよう、やる気や興味を引き出す ・自立に向けての活動では、作りたい物を調べ(グラフ紙や材料)買い物に行き実際に作り、片付けまでを行いながら自分で自覚出来る力をつける。 ・高校に向けての見学と一緒に同行出来る体制を整えておく。 ・実際に職場見学や体験、現場では働いている方の話を聞く中で将来どんな職業があるのか?興味があるものから体験する中で入り口が少しもつくれるよう支援を行う。 ・児童や保護者との面談や日々のコミュニケーションをとりながら好きなことや得意分野を見つけ、興味のある進学先や職場の見学、体験と一緒に行動。 代開交流 プロイド内の事業所は、介護、学童、保育サービスがある。幅広い世代間の交流として、養護は経験出来ないような行事などを一緒に行うことで、人とのつながり、思いやり、やさしさなどの気持ち育てる。(例:雑での交流・季節の行事・納涼祭等) 企業として 職員は月1回、主に参考書の読み合わせ、研修に参加した職員を主としてグループワークを行いながら応用行動分析を学ぶ。講師の方をお招きしての勉強会も予定し実施する。また、利用児の良し行動を増やし、良くない行動を減らしていくよう支援する。また、保護者支援では、職員の子育ての経験に基づいたアドバイスに言及し、知識を持って寄り添いながらも適切なアドバイスをしていく。</p>	<p>主な修正点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式会社プロイドは福山を中心に地域の方々を事業所が集まる場所があり、そこで世代間交流を行っています。異年齢の方が行っている中でいづれもは違う自分の役割(放デイの利用児童が保育所の児童の手を引く、取組の際に一緒に揃ってあげる等)を自然と見つけ、そのいい姿を職員にほめてもらう。自然とやさしさが出るような活動を大切にアイリライフWAKABAでも取り組みます。 ・どんな仕事があり、どんなことをするのかなど(見学・体験)まずは知る事やその中で将来なりたて目標を見つけることを重点に行います。
--	---

14 防災計画

<p>●津波発生時の避難確保計画 避難場所:ラファスタ立体駐車場2F 事業所から1,300m ●火災、地震の避難計画 避難場所:緑丘小学校 事業所から800m 職員が安全確保しながら災害時には徒歩、水害時には公用車にて誘導し避難します。</p>	<p>主な修正点</p>
--	--------------

15 一日の流れ

08時30分～09時00分	送迎	<p>主な修正点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平日は午前、午後の2部制でサービス提供を行います。 ・休日は、職員の休養を表しています。 ・休日の際には多めに人員を配置することに配慮します。
09時00分～12時00分	サービス提供	
12時00分～12時30分	送迎	
12時30分～13時30分	休憩	
13時30分～14時00分	支援準備・昼礼	
14時00分～14時30分	送迎	
14時30分～17時30分	サービス提供	
17:30～18:30	送迎	